13
-中・西部-

はらだ なおみ
原田 尚美

やまぐちシードル 代表
ワイン&シードル バー 店長
YY!ターンコンシェルジュ

応募のきっかけは？

社会人生活を送るうちに、農や食、人をつなぐことを生業にしたいと考えるようになりました。2015年の年末に帰省した際、協力隊の募集があることを知り、2ヶ月間考えた後に応募することを決意しました。

どんな活動をしたいと思っていましたか？

一つは、マイクロワイナリーをつくり、農と食、人と人がつながる空間をつくること。もう一つは、ワインと山口の食材をマリアージュさせ、山口の食文化を豊かにするお手伝いをしたいと思いました。

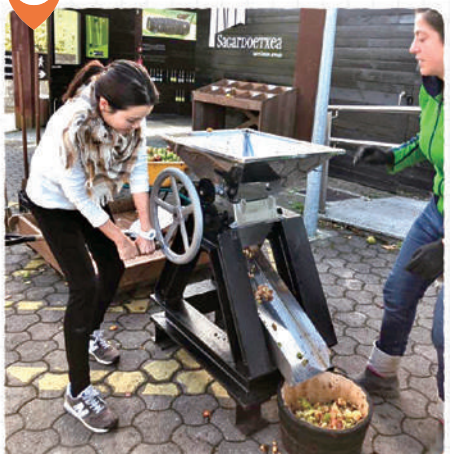
隊員時代の思い出を教えてください

着任から約半年後に、山口市の特性を踏まえてワインからシードル（りんごのスパークリングワイン）づくりに活動をしぼりました。当時、「シードル」について知っている方は稀でしたが、3年間を通してシードルの啓蒙活動を行い、徐々に「シードルは順調？」と声を掛けられるようになり、「認知されてきた」と実感できたことは嬉しかったです。

大変だったことは？

着任後すぐに始めたビジネスプランづくりは、月1ペースで書いていました。経営に関する知識がなく、研修に参加したり、協力隊の先輩経営者に相談したりすることで、何とか完成させました。

隊員時代：スペインへシードルと食文化の視察



活動中のキーパーソンを挙げるとしたら？

醸造の先生です。醸造経験もなく困っていたところ、知人から山口市出身の醸造家を紹介していただいたことで、試験製造を開始することができました。また、応援してくださった地域の方々の存在は、今も大きな原動力です。

現在、そしてこれからについて

シードルのブランディング、小売・卸業、ワイン&シードルバーの店長などをしています。また、地域の女性たちと任意団体「阿東を盛り上げる女性のネットワーク」を立ち上げ、地域活性化にも取り組んでいます。

今後の目標は、りんごの生産地域の中に醸造所を造ることです。自然の中でくつろげ、農にも触れ、食も楽しめて、いろんな人と交流もできるような空間をつくりたいです。

やまぐちシードル

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

卒業後やその先をざっくりでもイメージしておくこと、そして、そのゴールやそこへ向かう進捗状況を市や町の担当者と共有しておくことが重要です。また、活動する中で、だんだんと「地域のために」と考えがちですが、自分のビジョンを軸に気負いすぎないことも大切です。

はらだ なおみさん 原田 尚美

協力隊として

| 着　任　地 | 山口市
| 活動期間 | 2016年6月～2019年5月
| 活動内容 | 地域特性を踏まえたビジネスモデルの構築

現在の仕事

やまぐちシードル 代表、ワイン&シードル バー 店長、YY!ターンコンシェルジュ

| ホームページ |
https://yamaguchi-cidre.net

「あともり」の定例会でブルーベリー園の視察

原田さんのあゆみ

- 2012. ライフワークを模索し始める
- 2016.06 協力隊着任
- 2017.04 シードル啓蒙活動開始
- 2017.09 「やまぐちシードルプロジェクト」発足
- 2018.03 山口にワクワクする場所をつくり、にぎわいを生み、暮らしを豊かにしたいというプロジェクト
- 果実酒試験製造免許取得
- 2019.02 「阿東を盛り上げたい女性のネットワーク（通称：あともり）」結成
- 2019.05 協力隊卒業
- 2019.09 「やまぐちシードル」創業
- 2020.02 自社の商品販売開始